

Cisco Meeting Server(CMS)データベースクラスタとクラスタの分離

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[データベースクラスタの削除](#)

[データベースのクラスタ化](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、証明書を設定し、証明書の変更後にデータベースを再クラスタ化するために、Cisco Meeting Server(CMS)データベースをディスバンドする方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- CMS基本設定
- データベースクラスタ

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

設定

データベースクラスタの削除

ステップ1：データベースクラスタ内の各サーバのバックアップを取ります。

ステップ2 : クラスタ内の各CMSサーバへのCLIセッションを開きます。

ステップ3:コマンド`backup snapshot name_of_backup`を実行し、CMS構成をバックアップします。

ステップ4 : 各CMSサーバでWindows Secure Copy(WinSCP)セッションを開き、PCで作成したバックアップを保存します。拡張子が.bakおよび.jsonの2つのファイルが必要です。

ステップ5:CLIでコマンド`database cluster status`を実行します。データベース・マスターはどれか確認する必要があります。

ステップ6 : 最初にスレーブのいずれかを選択し、そのサーバへのCLI接続を開きます。

ステップ7 : スレーブに接続したら、コマンド`database cluster remove`を実行し、プロセスが完了するまで待ちます (図を参照)。

```
cmsCore2> database cluster status
Status : Disabling (Started 25 seconds ago)

Nodes:
Node in use : None

Interface : a

Certificates
  Server Key : dataserver.key
  Server Certificate : dataserver.cer
  Client Key : dbclient.key
  Client Certificate : dbclient.cer
  CA Certificate : root.cer

Last command : 'database cluster remove' (In Progress)
```

ステップ8:プロセスが完了したことを確認するには、コマンド`database cluster status`を実行し、`database cluster remove`コマンドが図のように成功したことを確認します。

```
cmsCore2> database cluster status
Status : Disabled
Node in use : None

Interface : a

Certificates
  Server Key : dataserver.key
  Server Certificate : dataserver.cer
  Client Key : dbclient.key
  Client Certificate : dbclient.cer
  CA Certificate : root.cer

Last command : 'database cluster remove' (Success)
```

ステップ9 : データベースクラスタのすべてのCMSスレーブで同じ手順を実行します。

ステップ10 : データベースクラスタ内の唯一のノードがマスターになったら、マスターへの

CLIを開き、上記と同じ手順を実行します。

ステップ11：この時点で、データベースクラスタは無効になっています。

ステップ12：証明書をデータベースサービスに適用します。

データベースのクラスタ化

ステップ1：マスターにするサーバーで、コマンドdatabase cluster initializeを実行します。

ステップ2：データベースノードが正常に初期化されたことを確認するには、コマンドdatabase cluster statusを実行して、正常に初期化された状態であることを確認します。

ステップ3：クラスタに追加するすべてのスレーブで、コマンドdatabase cluster join Master_IP_Addressを実行します。

確認

ステップ1：クラスタを構成するすべてのCMSへのCLIセッションを開きます。

ステップ2：データベースクラスタの状態コマンドを実行します。

ステップ3：図に示すように、データベースマスターがすべてのサーバーで同じであり、すべてのサーバーが同期状態であることを確認します。

```
cms2> database cluster status
Status                : Enabled

Nodes:
  172.16.85.104       : Connected Master
  172.16.85.114       : Connected Slave ( In Sync )
  172.16.85.103 (me)  : Connected Slave ( In Sync )
Node in use           : 172.16.85.104
```

トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。